

「稲高生による千葉市創生プロジェクト」 ～生徒が熊谷市長にプレゼンテーションを行います～

千葉市立稲毛高等学校では、今年度文部科学省より「地域との協働による高等学校教育改革推進事業（グローバル型）」に採択されました。その事業の一環として、1学年の「総合的な探究の時間」に「稲高生による千葉市創生プロジェクト」として身近な疑問を千葉市の問題として考える活動を行ってきました。

このたび、学年40班の中から選ばれた3班（各班8名）が熊谷市長にプレゼンテーションを行いますので、お知らせします。

1 日時

令和2年1月24日（金）15：00～16：00

2 場所

千葉市役所3階 第一会議室

3 参加者

稲毛高等学校の「総合的な探究の時間」の学年発表で選ばれた3班24名の1年生
千葉市長

4 内容

身近な疑問を千葉市の問題として考える活動を行い、学年40班が8グループに分かれ発表し、その中で優秀賞を生徒の投票で8班決定し、さらに8班が学年生徒全体の前で発表し、その中で選ばれた3班が代表で、発表します。

<発表>

- （1）「電子化の実現に向けて」
- （2）「なぜ稲毛高校は2期制なのか」
- （3）「学力向上のための昼休み改革」

5 取材について

- （1）当日の取材を希望される場合は、1月24日（金）14：00までに教頭（秋本）（277-4400）へご連絡下さい。
- （2）生徒を撮影する際は、配慮が必要な場合もありますので、事前に教頭へご確認ください。
- （3）当日は、14：45までにお越しください。
- （4）取材の際は、自社腕章等の着用をお願いします。

<参考>「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」

文部科学省が、高等学校等において、市町村・高等教育機関・産業界等との協働によるコンソーシアムを構築し、地域課題の解決等の探究的な学びを実現する取組を行う高等学校等を、地域との協働による高等学校教育改革推進事業指定校に指定し、質の高いカリキュラムの開発・実践、体制整備を進める事業。3つの類型を設けている。

そのうち、グローバル型は、グローバルな視点をもってコミュニティを支える地域のリーダーを育成するため、各地域の特性に応じたグローバルな社会課題研究としてテーマ（SDGs、地域、産業、観光、文化、伝統、医療介護等）を設定し、解決に向けた探究的な学び、地元市町村・企業等との連携によるインターンシップや海外研修等を、カリキュラムの中に体系的・系統的に位置付けるなどのカリキュラム開発等を実施する。